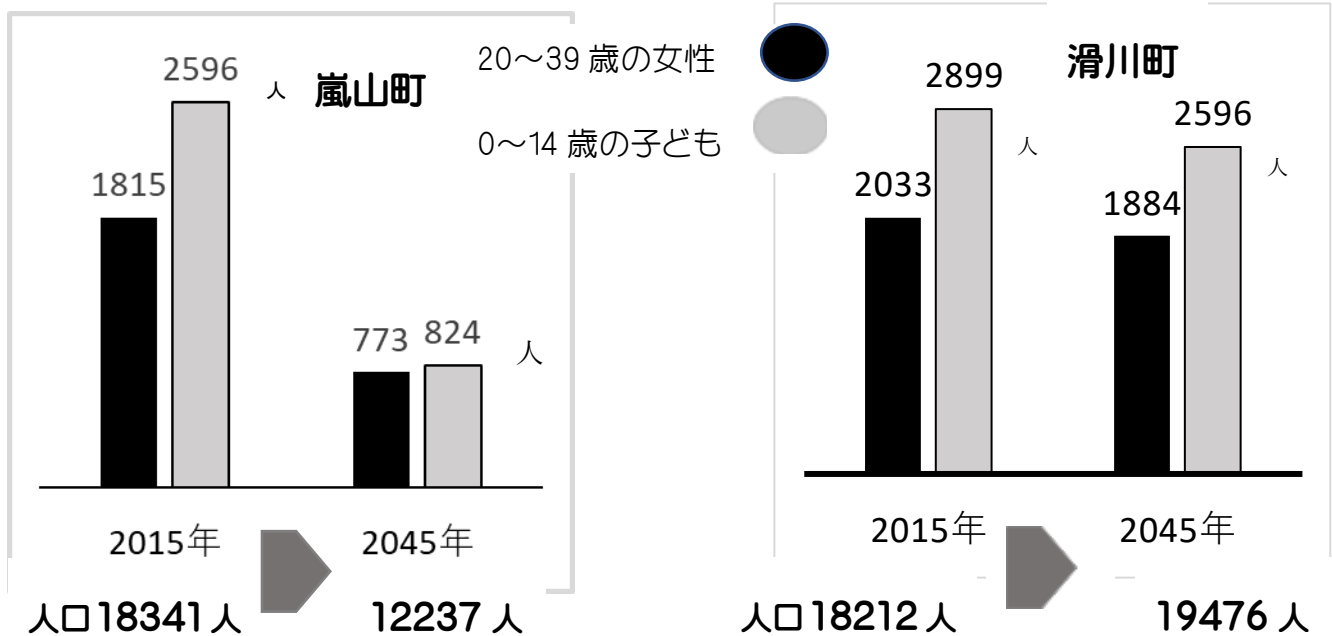


女性の声を大きく・・嵐山町議会・市町村議会・国会議員の女性を半分に

- 職場が遠い・結婚・生活しにくい・周囲への気兼ね・子育ての負担感が大きい等の理由で、若い女性は嵐山町から、離れていきます。滑川町の人口は 30 年後も増える予測です。嵐山町は、減少する予測です。
- 滑川町と嵐山町の違いは、駅の数もありますが、女性が望んでいる子育て支援の充実があります。
- 滑川町では、町立幼稚園の 3 年保育、学校給食無料化、18 歳までの医療費無料化などがあります。親の子育ての負担感を弱めることは必要不可欠です。嵐山町では実現できず残念です。



国立社会保障・人口問題研究所 2018 年より



男性中心の嵐山町を卒業しよう

「政治は男のしごと、女は政治に口をだすな」を感じています。家父長制度の男性のプライドで「政治に口をだすな」を 28 年間の議員活動のなかでずっと感じ続けています。議会に女性が多くなると、男性の主張に傾く女性も変わるはず。女性の声が大きくなり公の意見となると女性の声に耳を傾けます。まちづくりは、多様な意見で議論されることが必要です。

- 女性が政策過程に多くはっていくと、危うくなってきた日本の民主主義を守れます。

私のプロフィール 1951年広島県三原市生まれ。瀬戸内海の夕焼けを見て育ちました。

家族 夫・(拡大家族 10 人)娘 3 人+娘のパートナー+孫 4 人

- 立教大学法学部卒業。
- 埼玉県蕨市家庭児童相談員・訪問教師(養護学校義務化前学校に行かない子どもの教員)
- 浦和学童保育「辻子どもの家」指導員・わかば生協理事
- 1990 年より嵐山町に住む。1991 年より嵐山町議員
- 2017 年社会福祉士資格取得



渋谷とみ子 HP



渋谷とみ子の会 埼玉県比企郡嵐山町千手堂39-46 Tel / Fax 0493-62-7997
<http://space.tom-shibuya.com> e-mail shibuya97@s4.dion.ne.jp